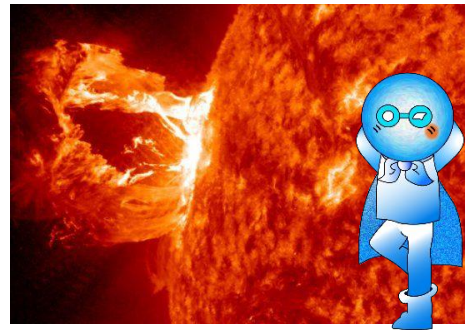




太陽フレアから始まる宇宙のお話

今巷で話題となっている「太陽フレア」についてご存じですか？太陽フレアとは、太陽における爆発現象のことをいいます。別名は太陽面爆発とも言います。太陽フレアは、小規模なものは1日3回ほど起きているそうです。この太陽フレアは、多数の波長域の電磁波の増加をもたらすそうです。総務省のまとめによると、その影響を受けて、地球上の磁気が乱れることで、最悪、携帯電話やテレビなどの放送が2週間、断続的に利用できなくなったり視聴できなくなったりするおそれがあるということです。また、GPS衛星の精度に誤差が生じ、カーナビゲーションシステムが正常に機能しなくなるおそれも指摘しています。さらに対策を講じていない電力設備では誤作動が起き、広域停電が発生するおそれもあるとしています。太陽は活動の周期があり、3年後の2025年ごろに太陽フレアは活発になるそうです。いつもは恩恵を受けている太陽ですが、このようなこともあるのだと、心構えはしておかなければなりません。



私は、小さい頃から、月や星を見上げることが大好きでした。県民天文台も近かったので、よく自転車で通っていました。そして、中学生の頃は、新聞配達のアルバイトをして安物の望遠鏡を買い、初めて月の表面を観たときの感動は、今でも忘れられません。オリオン大星雲にも心ときめきました。

さて、前述した太陽ですが、太陽は自ら熱や光を出す恒星と呼ばれています。私たちが日ごろ見ている、夜空に輝く星は殆どが恒星です（月や金星などは太陽に照らされている惑星です）。天文学者の鳴沢 真也氏によると、「一つの銀河には、1000億の桁の恒星があり、宇宙には、1000億の桁の銀河があるといわれています。したがって宇宙に存在する恒星の数は、桁でいえば1000億個×1000億個ということになります。これはどれほどの数なのでしょう？例えば、日本中のすべての海岸にある砂粒の数を思い浮かべてください。もちろん鳥取砂丘も入れてくださいよ。でもじつは、まだ足りません。今度は世界中のすべての海岸の砂粒を想像してみてください。1000億×1000億という恒星の数は、世界中の海岸に存在する砂粒の総数よりも、まだ多いのです。星は文字通り『星の数』ほどあるのです。」と驚きの見解を述べています。

また、NASAによると、私たちの天の川銀河の中に、生命が住める惑星は少なくとも3億個あるという論文も発表しています。さらに宇宙人探しのプロジェクトが世界中に広がっています。このように、夢とロマンが宇宙には溢れています。

さて、前述した太陽ですが、寿命があと50億年だと言われています。太陽なき後の地球上で生命活動を維持することは不可能です。そう考えると、我々の子孫たちは、太陽が寿命を迎えるより何億年も前に、無事に他の天体へ移住することができるでしょうか？地球上で人間同士が争って自滅への道を選んでいる暇があったら、未来に目を向けて全世界が力を合わせていかなければならないと思います。宇宙からは、この青く美しく輝く奇跡の星に国境は見えないのですから。